

介護職員・保険代理店・弁護士など
介護事故に関わるみなさまへ

みんなで検討！



オンライン開催
参加自由・無料

第4回開催2月22日

介護事故事例検討会のご案内

安全な介護では、毎月1回事例検討会を開催しています。主に特養や老健などの施設の介護事故事例を、みんなで検証したいと思います。介護職員や損害保険代理店や弁護士など、どなたでも参加は自由です(無料)。参加者に発言を求めることはありませんので、「事故カンファレンスの参考に聞いてみたい」という方もお気軽にご参加ください。

■ 事故事例検討会の進め方

山田から既にご案内している事故事例を改めて読み上げます。続いて、あらかじめ発言をお願いしている発言者の方と、下記の5つの視点で事例の検証を行います。最後に、全ての参加者のみなさまから、ご質問やご意見をいただきます。

次の5つの視点で事故を検証します。

1. 事故の過失の有無→防ぐべき事故だったのか？
2. 事故発生時の対処→マニュアル通り適切な対処ができたか？
3. 事故の原因分析→原因分析をしたか？それは適切だったか？
4. 再発防止策の検討→再発防止策を検討したか？それは適切だったか？
5. 事故後の家族対応→事故状況の説明など家族対応は適切だったか？

■ 第4回開催要領

主催:株式会社安全な介護 協力:あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
日時:2022年2月22日(火) 13:30~15:00

参加資格:安全な介護にゅーす購読者の他、どなたでも参加できます

申し込み方法:下記のURLからお申込み下さい。締め切り後に参加招待状をお送りします。

<https://bit.ly/3FkxnVR>

オンライン方式:ZOOMを使用します

締め切り:2月15日



【お問い合わせ先】

株式会社安全な介護 担当:山田
豊島区西池袋5丁目26-15 久保田ビル2F
TEL:03-5995-2275 FAX:03-5986-1776
mail : info@anzen-kaigo.com

2月の事故事例

リフト浴の安全ベルトを装着せず溺水事故で死亡

●利用者の状況

- 利用者の状況 女性88歳 要介護4 認知症なし(若干意思疎通不能のケースあり)
- 既往症:高血圧 膀胱結石 白内障 右麻痺
- ADL:食事:自力摂取 入浴:リフト浴 排泄 トイレにて一部介助 移動移乗 車椅子自走
- 服薬:ディオバン、ムコスタ マグラックス、プルゼニド、ファモチジンD

●事故発生状況及び発生時の対応状況

Hさん(88歳女性)は要介護度4の特養入所者で、入浴介助は固定式のリフト浴で行っています。ある日、介護福祉士の資格を持つ介護職員がHさんを入浴させようとする、いつものように安全ベルトの装着を嫌がります。安全ベルトの材質が硬いため、きちんと装着すると肌が痛いのです。仕方なく安全ベルトを装着せずに、そのままリフトを浴槽に下ろすと、お湯に浸かる時にバランスを崩して、Hさんの顔がお湯に浸かってしまいました。Hさんが大声をあげたため、介護職員が慌ててリフトを上げました。Hさんはひどくむせ込みましたので、看護師を呼んでバイタルチェックの上、居室で安静にして様子を見ることにしました。

ところが、その日の晩11時頃、Hさんがひどく咳き込み、唾液に血液が混じっていたため救急搬送しました。病院では、カテーテル挿入時に血尿が見られ、吐血もあったためICUで抗生剤の点滴投与を受けました。医師が「雑菌の多い風呂のお湯が肺に入り肺水腫を起こしている」と駆けつけて来た息子さんに説明したため、激怒して相談員に詰め寄る息子さんに対して、「リフト浴の介助ミスでお湯に顔が浸かってしまった」と相談員が何度も謝罪しました。

●事故原因分析と再発防止策検討

事故原因:リフト浴のベルトを装着せずにリフトを浴槽に下したこと
再発防止策:「必ず安全ベルトを装着してから浴槽に下す」というリフト浴介助のルールを徹底する。
乾いたタオルをベルトと体の間に挟んで、肌に触れても痛くないように工夫する。

●事故後の家族への対応

Hさんが翌日死亡したため、警察が業務上過失致死の疑いで介護福祉士に事情を聴取し、一時は施設内も騒然としましたが、最終的には事件性はなしと判断され施設の関係者は安堵しました。しかし、息子さんは職員に事故状況を聞いて回り、安全ベルトの不装着が事故原因であったことを聞き出し、加害者である職員と施設長を警察に刑事告訴しました。施設長は損害賠償金の上乗せを提示しましたが、「事故の時に家族に連絡も無く医者にも行かなかったのは、事故を隠ぺいしようとしたからだ」と言って交渉には応じてくれません。

事故事例検討用紙

●過失の有無 [防ぐべき事故だったか?]

●事故発生時の対処 [事故対応は適切だったか?]

●原因分析 [原因分析をしたか?それは適切だったか?]

●再発防止策検討 [再発防止策を検討したか?それは適切だったか?]

●事故後の家族への対応 [事故状況の説明など家族対応は適切だったか?]